

平成30年10月5日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成30年9月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成30年9月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成30年3月期											
	平成29年									平成30年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	469	488	449	404	489	539	483	482	607	552	499	562
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	63,192	72,786	82,184	88,166	117,248	143,437	115,410	122,896	81,853	142,982	164,784	129,679
外国為替取引口座数 (単位:口座)	298,467	300,139	301,557	303,106	304,509	306,001	307,465	308,647	309,873	311,645	313,167	314,547
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	59,995	61,529	62,091	62,774	63,253	64,734	63,512	61,675	61,378	62,789	62,309	61,758
一般顧客	50,108	50,819	51,353	52,431	53,410	54,057	55,014	55,820	55,367	57,073	57,628	56,966
金融法人 (B to B)	9,886	10,709	10,737	10,342	9,843	10,676	8,498	5,854	6,010	5,716	4,680	4,792
マネパカード口座数 (単位:口座)	77,503	81,189	85,019	90,702	97,327	101,409	104,187	107,082	110,964	116,830	119,853	122,719

年 月	平成31年3月期											
	平成30年									平成31年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	536	519	478	439	670	606						
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	91,552	116,599	101,591	92,238	107,310	84,706						
外国為替取引口座数 (単位:口座)	315,872	317,341	318,698	319,983	321,275	322,271						
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	62,379	61,817	63,050	63,736	62,506	62,707						
一般顧客	57,653	57,015	57,840	58,372	57,290	57,094						
金融法人 (B to B)	4,725	4,802	5,209	5,363	5,216	5,613						
マネパカード口座数 (単位:口座)	124,965	129,820	134,553	137,762	139,807	141,535						

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成23年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 9月次の概況 >

9月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル=111円前半で取引が始まり、トランプ大統領の日米貿易関係について不満を持っているとの発言が伝わると、7日には月の安値となる110円半ばまで値を下げました。その後、トルコ中央銀行が市場予想を上回る利上げに踏み切ると前月以来のリスク回避の流れは後退し、良好な米国経済指標も背景にドル買い円売りの流れになりました。その後、米中貿易問題をめぐり111円半ばまで値を下げる局面はあったものの、日米株式市場の高騰を背景にドル買いの流れは継続し、月の高値となる113円半ばまで値を上げ、月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、概ね円安方向で相場は推移しましたが、前月の新興国通貨の急落の相場変動の反動から、米ドル／円を含めた全体としての変動率は、前月を若干下回る水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、営業日数が20営業日と前月と比べ減少したこともあり、前月大きく増加した新興国通貨の反動減等により前月比21%減少の847億通貨単位となりました。一方、営業収益は、取引高の減少に加えて相対的に収益性の高い新興国通貨の割合が低下したこと等によりトレーディング収益が減少したものの、システム子会社によるシステム開発関連売上が9月単月で150百万円を超える水準となったことから、606百万円と前月比10%の減少にとどまりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比996口座増加の322,271口座、マネバカード口座数は前月比1,728口座増加の141,535口座と前月の活況相場の反動により増加ペースが低下した一方、外国為替取引預り証拠金は、円安方向の相場推移に伴い顧客の含み損益が大幅に改善したことによる余力資金の出金増加等があったものの、金融法人からの預りが増加したことから前月比201百万円増加の62,707百万円となりました。

なお、8月次の外国為替取引高について、速報値から修正があり、前月記載の107,353百万通貨単位から107,310百万通貨単位に記載を修正しております。

以 上